

令和7年度 総社市つどいの広場事業（山手会場）業務委託 事業報告

1. 子育て親子の交流と場の提供と交流の促進

山手保健センターつどいのひろば

スタッフの人数

保育士4名 保健師1名 助産師2名 社会福祉士1名 小学校教諭1名 養護教諭1名

①つどいの広場 ちびっこひろばの開催

開設日数 月曜日～金曜日の週5日 開設時間 9:30～16:00

年間開所日数 240日 月平均 20日

年間登録組数 425組 年間登録者数 570人

延利用者数（延べ） 6,716人 年間利用組数（延べ） 4,803組

午前4,328人 午後4,710人

午前 3,241組 午後3,194組 計6,435組

2. 子育てに関する相談、援助の実施

助産師相談日 1年 48日

にこにこ訪問（年 0件） スマイル訪問（年 0件）

3. 地域の子育て関連情報の提供

親子クラブ、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、各広場のおたより掲示

乳幼児健診のポスター掲示 広場情報の SNS 発信 図書館、市役所、小児科などへのおたより配布

4. 子育て及び子育て支援に関する講習会の実施

①赤ちゃんタイムの開催（毎月第4木曜日） 年間参加組数 延150組（12回分）

②プレママタイムの開催（毎月第2火曜日） 年間参加組数 延49組（12回分）

③親子体操（年4回） 年間参加組数 延42組

④性教育講座（年4回） 年間参加組数 延45組

⑤ママ・パパ先生による講習会（年20回 延295組） エンパワメント事業

⑥食育プログラム（年14回 延209組）

⑦親育ち講座

・赤ちゃんサロン（年 1回 延 17組）・子育て座談会（年 10回 延140組）

・親育ち応援学習プログラム（年 2回 延 31組）・子育て講習会（年 14回 延167組）

・プレ幼稚園（全4回 延37組）

⑧市との連携

・市栄養士による栄養指導内容についての助言指導

・市の保健師に気になる子について相談（随時） つどいらっこ（1回）カンガルー広場（月1回）

・チュッピーこどもまつり ・幼稚園・保育園説明会（1回）

5. 地域子育て力を高める取り組み

①外あそびの日の開催（毎月2～3回不定期） 年間参加組数433組

（地域の主要公園への出張ひろば）

②愛育委員会との連携（赤ちゃんタイムにて）

③栄養委員会との協働（年2回）

④山手支援センターとの協働（年3回）

⑤親子クラブとの連携 運営のための相談（たんぽぽ・常盤親子クラブ）

行事の協働（たんぽぽクラブ年 1回）入会用紙の設置

⑥お話ボランティア（年12回） 年間参加組数 延187組（利用者さんや地域の方）

⑦地域施設との協働 ・歯科衛生士（山手グリーン歯科）さんによる歯のお話（1回）

・お魚屋さん（平商店）がやってくる

・地域づくり協議会（健康福祉フェア）出張ひろばとして参加

⑧祖父母利用者数（延25名）

6. 特別支援対応加算事業

- 個別 すすくほっと相談 (毎週月・木曜日) 年間開催日数 94日
 相談件数 241件
- 集団 すすくほっと座談会(全4回 延25組)
 ニコニコ育児のコツ(プチペアトレ) (全6回 延18組)
- PEC (毎月第1木曜日) 5月～3月 10回 参加組数 延54組
- ・発達支援研修 (年1回)
 - ・親子教室研修会
 - ・発達支援研修への参加 (年17講座 延28名)

7. 利用者のエンパワメント

- ・読み聞かせ
 - ・広場内図書(雪舟文庫)のボランティア管理
 - ・ママ・パパ先生による講習会
- 絵本の読み聞かせ、ママコンサート、手作りおもちゃ、工作、デッサン、育休講座、プレ幼稚園等

8. 子育て支援団体等との連携・協働事業

- ・なかよし広場っこ・ぴよっこ・チュッピーひろば ほのぼのとの連携
- ・県大子育てカレッジ実行委員会参加 ・岡山子育てネットワーク
- ・おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク ・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- ・愛育委員会 ・栄養委員会 ・山手福祉センター ・山手ふれあいセンター
- ・地域子育てボランティア育成(ちびボラの育成)
- ・山手健康福祉フェア参加 出張ひろば
- ・相談支援事業所(あみーたⅡ M.p)

9. 研修会への積極的な参加 (年38講座 延76名 参加)

- ・子育てひろば全国連絡協議会 全国大会(3名)
- ・子育てひろば全国連絡協議会 初任者研修会(オンライン)(1名)

【よかったこと】

- ・今年度は利用者の方の声から生まれた、利用者の方主体の企画をたくさん行え、利用者の方の力が存分に発揮できるよう、スタッフは影で支える立場として企画を応援できたように思う。
- ・できるだけ多くの人に広場を周知してもらえよう、SNSを毎日投稿した結果、「SNSを見てきました。」という声も多く上がり、今後も継続して広報に力を注いでいきたい。

【改善点と今後の課題】

- ・居心地の良い場所として、第2子、3子と、長くひろばを利用されている方が多く、初めての方にとっては、アウェーに感じることもあったように思う。初めての方や、久しぶりの方も誰もが利用しやすい雰囲気づくりを心掛けていきたい。
- ・ママコンサートに大学生も参加し、利用者と、大学生との関わりや、学生が赤ちゃんを抱っこして喜んでいて姿を見て、中学生、高校生、大学生などが、赤ちゃんともっと触れ合えるような取り組みを考えていきたいと感じた。育児準備期と言われる、若者が少しでも赤ちゃんに触れ合うことで、結婚や子育てにもっと興味が持てるような活動が出来たらと感じている。